

国立市コミュニティバスの利用状況

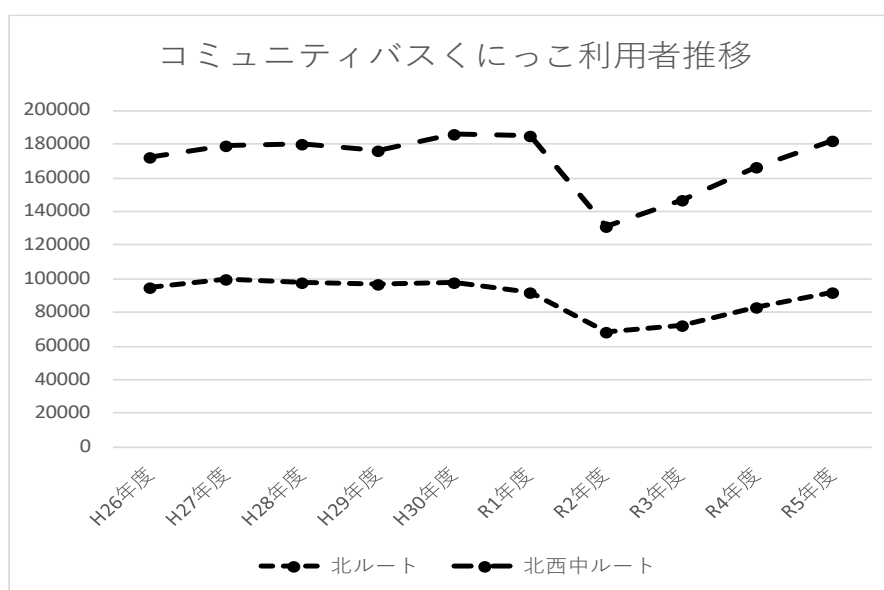
平成 26 年度からの国立市コミュニティバスくにつこの利用状況は下図の通りである(くにつこは定員 25 人と 31 人の小型バスを使用した定時定路線の乗合交通)。

コロナ禍前は、北西中ルートの利用者数が平成 30 年度に 185,930 人となり過去最高となっていた。北ルートは平成 27 年度に 99,755 人となり過去最高となっていた。

令和2年 1 月ごろから国内に新型コロナウイルス感染者が確認されるようになり令和2年度は大きな影響を受けた(北西中ルート 130,873 人／北ルート 67,991 人)。

その後、次第に回復し令和5年度実績では北西中ルート 182,695 人／北ルート 92,212 人となった。令和6年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更になり1年以上が経過し利用者数もほぼ回復し、上半期実績をもとに年間の利用数を予測すると北西中ルート約 197,800 人／北ルート約 105,800 人程度を見込んでいる。

なお令和5年度の収支率は 49.1%となっている(コロナ禍前の平成 30 年度は 59.4%、コロナ禍の影響を最も受けた令和2年度は 40.5%)。



(参考)

- ・コミュニティバスくにつこは平成 14 年度から運行(平成 15 年 3 月 8 日運行開始)。
- ・平成 25 年9月1日から北第一公園西発の始発を 15 分早め 6:45 発に、国立駅北口発の終発を 30 分繰り下げ 20:30 発に変更。
- ・平成 29 年度4月から交通系 IC カード導入。民間のシェアサイクル本格実施。
- ・令和元年8月1日から国立駅北口～北二丁目間でルート変更実施。
- ・令和2年1月6日から高架下駐輪場前バス停追加(国立駅北口行きも令和6年8月1日に設置)。
- ・令和6年8月1日に運賃改定(大人一回乗車現金210円、小児現金110円)
- ・令和6年6月から常用車両の1台がエンジン故障。リビルトエンジンに積み替え令和7年2月から運行に復帰。



北・北西中ルート路線図



■北（きた）ルート…国立駅北口⇄北第一公園西（①→⑦/⑦→53を運行。朝夕におおむね15分毎）

■北西中（きたにしなか）ルート…国立駅北口⇄国立駅南口⇄市役所（①→⑭→②⑧→④⑥→53を運行。

日中におおむね47分毎）

